





皆さん  
お待ち兼ねの

# のろ江支 日本年鑑

が出来上りました

## 南米へ!! ブラジルへ!!

これが最近祖國社會の人心  
の海外發展目的地であるそ  
うな。

「伯國はいゝ處だそうですね。  
か?」

地を耕すものゝ苦し味は、地を耕すものでなくては

解らぬ。伯國のいゝ處は、伯國に居る處のものが知つ  
て居る。

海外萬里南米東岸の一高臺上、各國伯人系と黒人系

の人種と伍しつゝ、千古の處女林地を耕やす大和民族

三萬人の一團これが、

「ノロエステ日本人年鑑」となつて今や  
吾社から發行される

二十年地を耕す人、最初は空拳を振つて伯人珈琲耕  
地の一勞働者……嘔にも等しい人々、の汗の餘滴で鍼  
を買つた。其の鍼のチビレル頃、僅かばかりの處女林  
地と鍼を購つた。

鍼をふるふ千吉の森、斯くて焼き拂はれた處女林地

「今や一千百萬株・収穫將に  
五拾万俵」

そこに培かひ芽ばなさせたカフェー樹、  
祖國の人々が、伯國はいゝ所だそうで  
すね……何がいゝ所だらうか。  
「東か、南か」。

「ノロエステ日本人年鑑」それは男ばかりの芳  
名帳で無い

今日の地主に誰かした。

抑々、家長にして吾がいとの妻女を、是迄の如く  
社會的にほつたらかして居て済むであらうか。植民地  
に於ては殊に、女性の偉大なる忍苦、母性愛のあた、  
かき努力、これがなくして「今日の地主」に誰がなり  
得ただらうか。ノロエステ日本人年鑑は、茲に鑑みる  
處あつて家婦の芳名も家長の下に一々明記してあ  
ります。

海外に發展せる、夫婦者の揃つた「年  
鑑」祖國へのいゝ贈物の第一特品で無か  
らうか。

「伯國はいゝところだそうですね」  
これは一態、伯國の何こを指して云つ  
たものであらうか。

その「伯國」はいゝ所? の疑問を  
解いて呉れるのが  
此の「ノロエステ日本人年鑑」である。

目次  
植民地合計  
年鑑末尾  
縣人別  
總統計  
年鑑

パウル驛を最初にノロエステ線をアラサツ  
バ驛迄各驛順に配列した。  
表は卷頭にかゝげてある。各驛各植民地合計は各末尾に  
右以外の各驛植民者は直接本社に御拂込の上御受取下  
さい。

●渡伯以來、祖國の親兄弟姉妹、親類縁者、知友の方々へ、無沙汰十年、十五年或は五年、七年……せぬ  
人があらうか……。

サンクトス港に行つて、……波の音聞や想ひ出の哀  
しいものが押しよる浪の如く黒く淡く湧いて来る時  
ノロエステ日本人年鑑は……。

祖國への「無沙汰」わびの特等品である。

豫約部數が既に千八百冊に上つ  
て居りますので、殘部は甚だ僅か  
で御座います。

御希望の方には代價一部  
一十五ミルレース(送料共)

○御送金入手同時に發送致します。

送金宛名は

SEMANARIO DE S. PAULO  
Caixa Postal, 58-BAURU

又左の取次人へ御拂込み下されば御取次  
致します。

▲パウル市瀬木支店 渡邊義男 古庄常喜

▲ベニナ駕 渡邊義男 古庄常喜

▲リンス駕 汎リヌス青年會 唐澤實雄

▲グアイサラ駕 本田授 半田巳代次

▲グラントン駕 石川増太郎

▲アランバウロ市 プロミツソン青年聯盟會計係

▲ベンナボリス駕 代田喜市

▲ピリグキ駕 高橋麟太郎

▲アラサツバ駕 大原榮藏

▲サンバウロ市 潮木商店

▲ルサンビラ駕 アリアンサ事務所

▲ビレスラゴアス駕 上江洲朝昌

▲カシボグランデ駕 出利葉大三

▲ドアルチーナ駕 安元青太

▲セレケラセザール駕 岡島仁郎

▲アルバーレスマッシャード駕 木村孝太郎

▲ボレビ一駕 齋藤甚七

聖州新報社









